

備前市施策評価シート

(平成20年度事業)

施策名 (小項目)	健康づくり	コード	役職	保健課長
		02-02-06	氏名	有吉隆之
			電話	64-1819

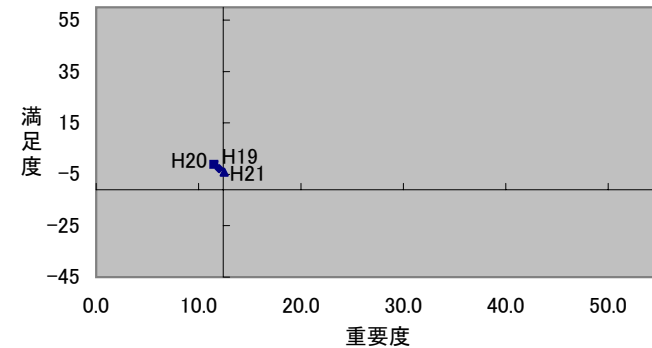
備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目(基本施策)	健康でやさしさあふれるまちづくり

① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	市民の健康づくりリーダーである愛育委員や栄養委員を育成し、市民の健康に対する意識を高め、健康増進を図る。
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	「健康びぜん21」に基づいた保健事業を展開し、市民の健康寿命の延伸を図り、QOLの向上を期すが、これらを市民協働で実現できるよう健康づくりリーダーや組織の育成を行い、マンパワーの充実を推進する。
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 健康診査受診啓発活動 地域における食育活動 健康づくりの基盤整備

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21	H22
重要度(%)	12.0	11.5	12.5	
満足度(%)	-2.8	-1.1	-4.2	



高 ↑ 満足度 ↓ 低	<p><見直し領域> その施策や事業が必要か否かの検討が必要</p>	<p><維持領域> 現状の方向を継続</p>
平均		
	<p><検討領域> その施策や事業の存続の検討が必要</p>	<p><強化領域> 内容を見直し、市民満足度を高める事業を行う</p>
	低 ←	重要度 → 高

調査結果に対するコメント、市民の反応等	調査年度により多少のばらつきはあるが、概ね、9割の市民が自分の健康に気をつけている。
[調査対象でない施策は、市民の反応等]	

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標・計算式・ベンチマークの説明	目標値	
		H18	H19	H20		H21	H22
成果指標 自分の健康に気をつけている市民の割合	目標	%	100.0	100.0	93.0	H21	100.0
	実績	%	88.1	90.9	88.5	H23	100.0
	達成率	%	88.1	90.9	95.2	H28	100.0
	ベンチマーク					-	-
参考指標① 愛育委員研修会の参加率	目標	%	82.0	85.0	85.0	H21	85.0
	実績	%	82.4	82.6	78.2	H23	90.0
	達成率	%	100.5	97.2	92.0	H28	90.0
	ベンチマーク					-	-
参考指標② 栄養委員研修会の参加率	目標	%	78.0	85.0	85.0	H21	85.0
	実績	%	80.1	85.0	87.0	H23	90.0
	達成率	%	102.7	100.0	102.4	H28	90.0
	ベンチマーク					-	-
参考指標③ 愛育委員一人当たり担当世帯数	目標	世帯	40.0	40.0	40.0	H21	40.0
	実績	世帯	38.5	39.8	39.9	H23	40.0
	達成率	%	96.3	99.5	99.8	H28	40.0
	ベンチマーク					-	-

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									施策への 貢献度 ☆☆☆☆☆ ~ ☆	経費の 性質 義務的 計画事業 その他	平成21年度 5月補正後 予算額 ※一財ベース
				平成18年度			平成19年度			平成20年度					
				直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数			
1	B	愛育委員会事業	単市	3,791	9,005	1.45	3,547	7,454	1.16	3,504	8,298	1.23	☆☆☆☆☆	その他	3,554
2	B	栄養委員会事業	単市	2,236	9,285	1.30	2,114	11,043	1.57	1,970	9,453	1.36	☆☆☆☆☆	その他	2,072
3	B	健康づくり推進協議会事業	単市	20	505	0.05	65	1,136	0.17	2,132	5,015	0.71	☆☆	その他	78
4	B	献血事業	単市	0	2,200	0.55	0	881	0.32	0	579	0.21	☆☆☆	人件費のみ	0
5	B	救急医療事業	単市	3,309	885	0.10	3,282	474	0.06	3,264	176	0.02	☆☆☆☆	その他	3,542
6	B	保健センター管理運営事業(庶務事務)	単市	3,554	760	0.10	2,231	474	0.06	1,824	82	0.01	☆	その他	2,232
				平成18年度			平成19年度			平成20年度					計
				12,910	22,640	3.55	11,239	21,462	3.34	12,694	23,603	3.54			11,478

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 役割分担の妥当性 (市の関与、協働の可能性)	4	市民協働で「健康でやさしさあふれるまちづくり」を目指していくために、愛育委員・栄養委員の両健康づくりリーダーの育成を図る必要がある。	4	健康増進を図る上で、愛育委員、栄養委員との協力は欠かせない。
2 事業構成の妥当性 (実施手段)	4	健康づくりの基盤整備ができる事業構成となっている。	4	市民の健康増進を図るための事業構成であり、妥当である。
3 施策の有効性 (指標分析、評価年度・中長期の達成度)	4	健康づくりに関する意見を行政へ反映させたり、自主活動を行うことで行政との協働で健康づくりを進めていく組織となっている。	4	健康への意識の高揚が図られており、有効な施策である。
担当への指示 (今後の展開、事業見直し、新規事業創出等)	健康づくりリーダーの愛育委員・栄養委員の研修機会を増やし、リーダーとしての知識をより高めるとともに、地域ボランティアとして活動できるよう個々の人材育成に努める。		地域住民と委員との信頼関係が重要である。気軽に相談できるようコミュニケーションづくりを図ること。	
二次評価者コメント	市民への健康意識の高揚は、愛育委員・栄養委員の活動が欠かせない。各地域での検診奨励、情報伝達など地道な活動により成果が上がっている。さらに、関係機関と連携を強化して市民一人ひとりの健康意識を高めていく必要がある。		基本施策への貢献度	翌年度予算の方向性
役職 民生部長 氏名 山口 和夫			4やや高い	平均的な配分